


中日友好新聞

発行所 日本中国友好協会
〒111-0952
東京都千代田区浅草橋2-2-3
03(57)5-5580
電話 03(57)391-0400(FU)
FAX 03(57)391-2141
http://www.jcfco.org.jp
E-mail:chunews@jcfco.org.jp
社址 100119-1-21176

日中友好協会 岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-59 民生会館1F
TEL/FAX 0861-258-1806

日中友好協会 倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福河町東22461-45
TEL/FAX 0861-411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.jinaa.net
メールアドレス
rizhongyouhaoxienuiokayama@yahoo.co.jp



中国帰国者問題写真と資料展①

―帰国者介護に希望の光を―

日中岡山支部 小林軍治

日中友好協会岡山支部は、4月18日から22日(20日と21日は休み)まで、岡山市役所一階ロビーで、十二回目の中国帰国者問題写真と資料展を開催しました。

今回の展示内容の特徴を五点紹介します。

第一点は、満蒙開拓団大島分村(活良大島)の足跡です。この資料は、日中倉敷支部の文化講演会で話された伊藤明子さんから提供されたものです。



前日の準備を手伝ってくれた援護化の職員

第二点は、「こころの里やまき」(小規模多機能型居宅介護施設)の日常生活です。この写真と文章は、青木先生(近現代史研究家)が施設を訪問し、入所者と交流した様子です。帰国者介護に希望の光を見出すことができます。

第三点は、高杉久治さんの語り部活動の紹介です。高校生たちの中国に対するイメージが変わっ

たなどの感想です。

第四点は、中国百科検定の内容と初級の試験問題です。問題を解いて、解答を確認する人もいました。

第五点は、内山完造、岡崎嘉平太など日中友好の先駆者の紹介です。

これら以外は、中国帰国者との交流会「日本語教室」日中国文化活動の取り組みなどです。

18日の様子―3件の取材―

初日は、約60人が参観しました。午前中3件の取材がありました。

OHKは、今岡寛さん(残留婦人二世)に、この展示で何を訴えたいですかと尋ねました。今岡さんは「この問題の歴史を知ってほしい。そして二度と残留孤児・婦人を生み出してほしくない」と答えました。

山陽新聞は、日中岡山支部主催の日本語学習講座の講師(貝吹さん・三宅さん)の声 残留孤児やその家族への理解が広がって、関わる人が増えてほしいを紹介しています。



山陽新聞の取材に応じる貝吹さん(中央)と三宅さん(右)

岡山民報は、「こころの里」の本田夫妻に、施設の運営などについて、詳しく聞いていました。

アンケートの一部を紹介します。

○一番印象に残った作品は？
帰国者介護に希望の光

○帰国者との交流会自由感想では、展示されたパネル、資料をひとつの写真集あるいは本にまとめて残されることを希望します。できればこれまでに展示された以前の資料も含めることができればよいでしょうが。」

深井重徳



熱心に参観する人たち

☆貴重な歴史の生き証人として活動を長く続けてください。
☆帰国者の厚生はどうなっているのでしょうか。
☆わすれちゃいけない。

岡正訓

☆私は日本語教室で勉強しています。一年半帰国者と一緒に勉強して、友達になりました。これからも続けていきたいと思っています。
深井八栄

益田聖子

☆毎年の展示はいろいろな問題と写真がたくさんありました。新しい内容もあり、とても感動しましたありがとうございます。

帰国者のための日本語教室について

文屋美枝子

福祉交流プラザの方はもとよ
り、帰国者の皆さんや子供さん
達、また参加の皆様の世話で、
このつどいが和気藹々とした中で
進められていて、私も感動しとて
もうれしく思っております。

私はここで月曜日本語教室を
担当している文屋と申します。

中国から帰国なさってまず直
面したのは言葉の壁だったと思
います。皆さんの、日本語を早く習
得したいと願う強い思いと、以前
から残留の方の状況を理解し支
援を続けてこられた方々の働きか
けや努力と、市の協力によって、
“帰国者のための日本語教室”は
今から十数年も前、この財田学
区に誕生したと聞いております。



今では市内に数か所の教室がで
き、皆さん頑張っておられます。

私が携わっております月曜教
室では、まず日本語の基礎を学
習し、読む、書く、聞く、を活か
すことが日常生活でできるよう
習熟度に合わせて、原則として一
対一で勉強しております。時に
は、生活する上での“きまりや規
則”“風習、しきたり”なども、中
国のそれと比較して話し合ったり
します。また、地域への参加や餃
子を作って食べながらの打ち上げ
会など、楽しさもおりませてやっ
ております。現在帰国者だけでな

く、在留の方も一緒に勉強してい
ます。

終わりに私からのお願いです。
教室では時間が限られており話
すことが足りないといつも反省し
ています。ご近所の人やどこかで
あつた人だなど思ったら、道で、公
園で、スーパーで、散歩の途中で、
お互いに声をかけてみてくださ
い。話すことによって言葉が生き
てきます。重み加わります。帰
国者にとつては良い学習にもなり
ます。きょうはともよいきかいで
す、声をかけてみましょう。よろ
しくお願いいたします。

(帰国者との交流会でのあいさつから)

「学びの広場・岡山」企画、「日中戦争の全貌と教訓」全12回

—現在を戦争前史・前夜にさせないために— ②

○徐州作戦—中国軍の捕捉殲滅作戦

首都南京を占領しても、中国は
屈服せず、さらなる打撃をと、大
規模な軍事作戦へと展開していっ
た。1938年春に、徐州作戦が
敢行された。徐州は華北と華中
をむすぶ交通の要衝にあり、捕
縛潰滅をねらって徐州作戦を命
令した。5月17日に徐州を占領
したが、中国軍はすでに、退却し
ていた。

戦争を遂行するにあたって、プ
ロバガンダとしての文学。従軍作
家、火野葦平の「麦と兵隊」主と
兵隊」「花と兵隊」(兵隊3部作)
戦記作家として名声を欲しいま
まにした。

石川達三の「生きている兵隊」は
内務省により発禁処分になった。

○武漢攻略作戦

1938年8月22日、大本営
は、武漢攻略作戦を命ずる。それ

までの日中戦争でもっとも大規模
な戦闘になった。2カ月にも及んだ。
10月27日、武漢全域を占領す
るも、大打撃を与えるという目的
は達成できなかった。中国は6月
には重慶に政府機関を移転して
いた。

戦時国際法で禁止されている
毒ガス・細菌兵器を禁止されてい
ることを知りながら、公然と使用
した。中国や中国人に対する差
別意識があつた。中国兵の捕虜、
投降兵、敗残兵を集団虐殺し
た。武漢作戦以後、毒ガス兵器の
使用は恒常化し、毒ガス作戦はエ
スカレートする一方だった。広島
県大久野島にガス兵器工場が作
られ、三井財閥系、住友財閥系、
など財閥系会社が生産、納入を
おこなつた。大久野島は地図から
消された。

火野葦平に続けと従軍ペン部
隊が菊地寛が中心になって編成
された。国内世論の管理・統制と
いう日本国民に向けた思想戦の
目的は達成された。菊地寛は文
芸春秋」を創刊して芥川賞、直木
賞、菊地寛賞を創設した。文壇も
ジャーナリズムも戦争一色となつ
た。

○広東作戦—国民政府「壊滅」作戦の挫折と第二次近衛声明

大本営は、イギリス領の香港を
通じて欧米からの援助物資が搬

入されるのを阻止するため、広東
作戦を開始した。10月21日に広
東を占領した。日本国内ではサイ
レン・ラジオ・号外などでいつせいに
報道され、全国で戦勝祝賀行事
が大々的に繰り広げられた。蔣
介石は武漢撤退にさいして「全国
民に告げる書」を発表して全面抗
戦の堅持を呼び掛けた。

日中戦争は長期戦争の泥沼に
入つた。1938年11月3日、近
衛内閣は第二次近衛声明を発表
して、第一次近衛声明を修正し
て、国民政府ナンバー2だった汪
精衛は、日本政府・軍部の工作を
受けて1940年3月30日に汪精
衛政権を樹立し、国民政府の南
京遷都(傀儡政権)を宣言した。
汪精衛は日本政府・軍部に裏切
られ、1944年11月10日、名古
屋大学病院で失意のうちに病死
した。

(稲葉泰子)



次回の新聞送作業は
4月26日(金)午前10時から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

岡飼林田田
今犬小真曾